

(運営推進会議 平成 28 年 12 月 14 日開催)

1. 地域での暮らしの支援について

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画 今回は初回のため、なし

個人チェック項目	よくできている	なんとか出来ている	あまりできていない	ほとんどできていない
0 前回の課題について取り組めたか？				

◆今回の自己評価の状況

(全職員へアンケート調査)		よくできている	なんとか出来ている	あまりできていない	ほとんどできていない
1	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	2	4	5	
2	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？		5	5	1
3	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		8	2	1
4	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		1	7	3

出来ている点 (全職員へアンケート調査)

- 【1】・本人や家族様、ケアマネからの情報で、これまでの生活スタイルなど理解できていると思う。
 - ・個々のファイルに目を通すだけで以前のライフスタイルや既往歴を知ることができライフスタイルを基に会話を行うことが出来ている。
 - ・担当者に対しては出来ている。
 - ・食の嗜好品等の理解はある程度出来ていると思う (食事担当)
 - ・本人のこれまでの生活や人間関係は利用前に把握するようにしている。その後話しを通じてより深く知ろうと日々気にしている。
- 【2】・家族や介護者と情報交換したりして、連携をとって支援できていると思う。
 - ・家族様に話を聞くようにしている。
 - ・本人と家族との関係は、それぞれの人間関係を考えながら接している。
 - ・本人の話やあった時に家族さんと話をさせて頂き、情報収集した事などは、本人様と接するとき思い出し、対応するようにしている。
 - ・家族の介護負担の軽減や介護が必要なタイミングのとき、断らず快くすぐに返答するようにしていて、そのことで「まだがんばれる」と思っただけのように意識している。それが関係を維持していくことに、つながっていると思っている。
- 【3】・利用者の方が家で、どのように過ごされているか大体把握している。
 - ・送迎時に見たことや、ご家族に聞いたりすることで把握するようにしている。
 - ・職員間での話で、ある程度、本人の生活を知れている。
 - ・ご本人に話を聞かせてもらったりもした。
 - ・直接接していない時間についても本人や家族への聞き取りから大体理解できている。
 - ・今の暮らしを地域の人たちが見守っているケースを知っている。
 - ・自宅での様子は送迎時にご家族に常に聞くようにしている。

出来ていない点 (全職員へアンケート調査)

- 【1】・担当者以外の方の生活スタイル・人間関係などの理解が出来ていない。
 - ・大体理解しているものの、詳しくは理解できていない。
 - ・ファイルに目を通しただけで深く探ったことがない
- 【2】・地域との関係が切れないように支援は出来ていないように思える。
 - ・どのように地域との関係が切れないように支援するのかわからない、できていない。
 - ・本人と地域との関係について必要と思われる方にはアプローチするが、そうでない方への支援はあまり出来ていない。
 - ・地域との連携などよく分かっていない
- 【3】・全体的に把握できていない
 - ・話を聞くことだけで、どのようにということは把握していない
- 【4】・生活されている地域の資源や民生委員の把握はあまりできていないと思う。
 - ・利用者様の地域の民生委員を知らない。
 - ・地域との関係を続けている方は把握しようと努めていましたが、そうでない方へは把握することに欠けていたと思う。
 - ・民生委員や地域の資源が分かっていない。・民生委員さんとの関係構築があまり出来ていない。

なぜ？ どうして？ できていないのか？ その理由（全職員へアンケート調査）

- ・④本人や家族様からの情報はあっても、地域にどのような資源があり、活用できるかというところまで、考えられていなかった。
- ・忙しい日は、どうしても業務優先になってしまう為
- ・①人間関係まで理解する必要があると思っていなかった。
- ・②地域と切れないように支援する必要があると思っていなかった。
- ・③事業所内のことだけ把握していれば良いと思っていた。
- ・④民生委員、地域の資源まで把握しなくては、いけないことがわかっていなかった。
- ・②支援者を募ったり、探し出すところまではできていない。
- ・④民生委員の方への挨拶ができていない
- ・④民生委員の方へ相談など行えていない。

具体的な改善計画

- ① 月に数回、朝礼で担当者が情報を発信する時間を作る。（生活歴、現在の暮らし、家族との関係等）
第4週の1週間 朝礼時 ショートカンファレンスを1週間は中止して行う。但し緊急性の高い、カンファレンスがあれば、そちらを優先する。【当日のリーダーが司会進行・ショートカンファレンスの時間に実施・事前に誰をするか明確にしておき担当者は事前準備をしておく】
現在、地域とつながっている関係を切れない様に支援していく。
送迎等で地域の人と出会った時には挨拶をし、可能な時は話しをする。
- ② 自宅等でどのように過ごされているのか家族に聞いたり、ケアマネに聞く。
認定情報や主治医意見書には氏の状態が細かく書いてあるので情報を読む。その上でケアプランを見る。
【全職員がご家族に対して送迎時や訪問時、または来所時に様々なお話をしていく。その中で普段の様子を聞くようにしていく。さらに、そのとき知り得た情報はショートカンファレンスを通じて全職員に伝えていくようにしていく】
- ③ 自宅等でどのように過ごされているのか把握するため、ご家族やケアマネージャーに普段から話をしていく。
【全職員】
- ④ 対象利用者様の地域の民生委員様を把握していく。まずは地元の民生委員の方からお付き合いをしていき、どのような連携が可能なのか、相談していく。【管理者・ケアマネージャーが率先して連携し、全職員に内容を伝えていく。】

運営推進委員様からのアドバイス・意見

【運営推進委員様から】

・地区の民生委員と言っても近所ならすぐ行ける場合もあるが自宅が遠い場合はすぐには行けない事もある。守秘義務もあり施設の職員であっても話せない事もある。ご本人やご家族から声を掛けられれば気に掛けるがそうでなければ民生委員の方から声掛けする事はあまりない。問題が生じた時には介入するが何もなければ何もしない。

・何かあったときには、すぐに動ける体制を作っておくことは大切であるが、介入できる範囲と出来ない範囲を見極めて対応していく必要がある。

・地域包括としては包括の職員も支援はするが休みだったりとすぐに対応出来ない事もあるので、やはり近くの民生委員様の方が良い場合もあり見守りはお願いしたい。「ゴミ出しをして下さい」等と具体的に頼む事は出来ないが民生委員様の方から声を掛けて頂けると大変助かる。ご本人の状態に寄って民生委員様に知っておいて頂いた方が良いと思われる方には、ご本人やご家族の了解が得られればお伝えして繋げて行きたい。

【京町小路管理者より】

・大きな問題になる前に常日頃から連携を取っておく必要があると考えます。まずは地区の民生委員様が誰なのか把握して行く事から始めたいと思います。